

VISIT RWANDA

未来志向の国



TOURISM SECTOR IN RWANDA



I. ルワンダへようこそ

“千の丘の国”として知られるルワンダは、息をのむような風景、活気あふれる文化、豊かな生物多様性を誇り、旅行者や投資家にとって魅力的な目的地です。

注目の観光地：

活気あふれるキガリ

清潔で安全な都市であり、キガリジェノサイド記念館、アートギャラリー、地元の市場、キガリ・ゴルフリゾートなどの観光名所があります。

キブ湖とリゾートタウン

ルバヴ、カロンギ、ルシジでは、カヤック、コンゴ・ナイル・トレイルのサイクリング、アグロツーリズムなどのアクティビティが楽しめます。

文化体験

王宮博物館、民族学博物館、伝統工芸品の市場を訪れてみましょう。

観光投資機会

キガリ：

- ・ 高級ホテル、サービスアパートメント、文化村
- ・ キガリ・ゴルフリゾート、超高級住宅&商業スペース（3億ドルの投資）

キヴベルト：

- ・ キブ湖沿いの高級ホテル、エコロッジ、ゴルフリゾート

国立公園：

- ・ ニュングウェ&アカゲラ国立公園のエコロッジ
- ・ アカゲラでのビッグファイブサファリ体験ができる高級テントキャンプ

手つかずの国立公園



ヴォルケーノ国立公園：壮大なマウンテンゴリラとゴールデンモンキーの生息地で、忘れがたいトレッキング体験が楽しめます。

ニュングウェ国立公園：アフリカ最古の熱帯雨林で、チンパンジーの追跡、キャノピーウォーク、バードウォッチングに最適です。

アカゲラ国立公園：中央アフリカ最大の湿地で、ビッグファイブやボートサファリが楽しめます。

ギシュワティエ・ムクラ国立公園：ユネスコ生物圏保護区で、ハイキングや霊長類との出会い、生物多様性保全体験ができます。



なぜルワンダに投資するのか

- ・ 世界銀行による「アフリカでビジネスがしやすい国」第2位
- ・ 24時間対応のワンストップセンターと投資優遇制度
- ・ 2030年までにホテル客室数を47,000室に増加予定

旅行のヒント

- ・ ビザ不要の旅行：アフリカ連合、英連邦、フランコフォニー加盟国の方は到着時に無料ビザ発給
- ・ その他の国籍の方は50米ドルでビザ取得可能
- ・ 接続性：全国規模のインターネットと電話ネットワーク

ルワンダへのアクセス

- ・ 主要航空会社：ルワンダ航空、ケニア航空、エチオピア航空、ブリュッセル航空、KLM、カタール航空、エジプト航空、トルコ航空
- ・ 国内移動：アカゲラ・アビエーションによるヘリコプター移動あり

訪問の計画

ルワンダならではの冒険、文化、そして新たなチャンスの融合を発見してください。

詳細は www.visitrwanda.com でご覧ください。ソーシャルメディア：@visitrwanda_now



CONSERVATION SECTOR IN RWANDA



II. ルワンダの保護活動と成果

ルワンダは、環境保護と持続可能な開発において世界的なリーダーとして広く認識されています。

この国は、息をのむような景観と多様な生態系に恵まれ、保護活動で驚くべき進展を遂げており、投資のためのユニークな機会も提供しています。

国立公園と生物多様性

ヴォルケノ国立公園、ユネスコ世界遺産のニュングウェ国立公園、ギシュワティ・ムクラ、アカゲラ国立公園は、重要な自然資源を守っています。

これらの公園では、マウンテンゴリラやアカゲラの「ビッグファイブ」などの絶滅危惧種が保護されています。

持続可能な観光モデル

エコツーリズム収益は、地域開発と生物多様性保全に再投資され、人々と自然が共に利益を得る持続可能な観光モデルが実現されています。

再生プロジェクトと森林回復

ルワンダは「ボン・チャレンジ」の一環として、2030年までに200万ヘクタールの劣化地回復を目指しています。

ギシュワティ・ムクラ国立公園の再生成功は、持続可能な土地利用と森林回復の手本です。

地域主導の保全活動

地域社会は収益配分プログラムと地域主導の活動を通じて、保全に積極的に関与しています。

政策とモニタリング

ルワンダは「国家生物多様性戦略・行動計画(NBSAP)」を通じ、証拠に基づいた政策を推進し、国際機関と連携してモニタリング体制を強化しています。

都市部の再生事例

ニヤンドウグ・エコツーリズムパーク：劣化した湿地が再生され、保護とレクリエーションの緑地に

キガリの他の湿地：ルワンパラ、ルゲンゲ・ルインタレ、ギコンドなども生物多様性と都市の回復力を高めるため修復中

投資機会

カーボン市場：泥炭地と森林は、炭素吸収源として魅力的な投資先です。VCM(ボラנטアリー・カーボン・マーケット)などが活用可能。

新分野のエコツーリズム：バードウォッチング、アグロツーリズム、宗教観光、文化観光、ウェルネスなど多様なサービス拡大が可能。

再生可能エネルギー：保護区周辺でのソーラー、バイオガス、小規模水力発電の導入は森林伐採を抑制。

湿地管理：アカンヤルルゲジ湿地の保全は、気候変動対策と地域生活向上に貢献。

アグロフォレストリー：農業と森林の融合で、炭素貯蔵・土壌改良・食料安全保障を促進。

成功事例：絶滅危惧動物の回復

マウンテンゴリラ：地域の保護活動の成果により、もはや絶滅危惧種ではありません。

ホオジロカナムリツル：キガリのウムサンピ村ではリハビリセンターが成功、民間保護区の創設が奨励されています。

ルワンダは保全投資に最適な場所

- ・ 環境リーダーシップと保護活動：ルワンダは国際的にも高評価。
- ・ エコツーリズムの収益は地域に再投資：国立公園は保護と地域発展を両立。
- ・ 持続可能な土地利用モデル：ギシュワティ・ムクラは成功例。
- ・ 都市と地域の保全：ニヤンドウグなどの都市プロジェクトが地域の回復力向上に貢献。

詳細・参加方法：

<https://greenfund.rw>





Ⅲ. キガリ・ヘルス・シティ： 地域医療の優れた未来像

ルワンダは医療分野の再構築に取り組んでおり、その中心となるのが「キガリ・ヘルス・シティ」です。

これは、アフリカにおける先進的な医療サービスの中心地を目指す未来志向のプロジェクトです。

主要プロジェクト

IRCAD アフリカ：低侵襲手術研修・研究センター

- ・ 2023年10月開設。フランスに本部を置く IRCAD により運営され、年間500～1,000人の外科医を研修。低侵襲外科手術による痛み・感染リスク・入院期間の軽減を目指します。
- ・ マイ・ハート・センター：心血管ケアセンター 現在建設中で、数ヶ月以内に完成予定 心血管診療、研究、医療従事者の研修を提供します。

マイ・ハート・センター：心血管ケアセンター

- ・ 現在建設中で、数ヶ月以内に完成予定。
- ・ 心血管診療、研究、医療従事者の研修を提供します。

キガリ大学教育病院 (CHUK)

- ・ ルワンダ最大の病院であり、収容数830床以上の新施設が2025年完成予定。

感染症および隔離専門センター (EFFO-COE)

- ・ ドイツ政府支援により設立。エボラやラッサ熱など高リスク感染症対応に特化
- ・ 高度隔離病床(10床)とトレーニング機能を備えています。

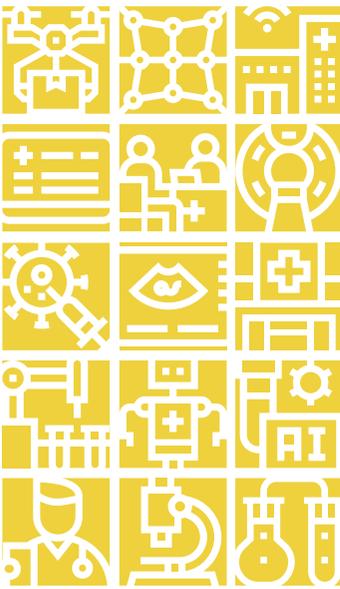
投資機会

- ・ 医療インフラ開発
- ・ 診断・研究施設の設立
- ・ 高需要分野(心臓病・腫瘍・整形外科など)への専門サービス拡充
- ・ 医療従事者の教育・トレーニング
- ・ 医薬品製造施設の構築

KHCの目的と魅力

- ・ 高品質な医療サービスと教育、イノベーション、インフラの融合
- ・ 東アフリカ地域およびアフリカ大陸全体から専門治療を求める患者を惹きつける
- ・ 投資家はインフラ、研究、人材育成、医薬品製造など多様な分野で参加可能

詳細は公式サイトをご覧ください：
www.moh.gov.rw





TECHNOLOGY SECTOR IN RWANDA



IV. キガリ・イノベーション・シティ： アフリカの技術革新を切り拓く先駆け

キガリ・イノベーション・シティ (KIC) は、アフリカのテクノロジーとビジネスの新たな中心地として構想されています。

教育、テクノロジー、ビジネスを統合した活気ある環境を作り、経済成長と革新を加速させることを目的としています。

成長見込み

- KICは、AI、ロボティクス、機械学習などの最先端技術分野での大学、スタートアップ、アクセラレーターの集積地になります。
- プロジェクト価値は20億ドル以上と予想され、年間1億5,000万ドルのICT輸出、3億ドル超の外国直接投資を見込んでいます。

主要拠点・企業

- カーネギーメロン大学アフリカ校 (CMU-Africa)
- アフリカン・リーダーシップ・大学 (ALU)
- ルワンダ大学・バイオメディカル工学先端センター
- アフリカeコマースグループ
- フォルクスワーゲンモビリティソリューションズルワンダ
- その他の多国籍企業およびスタートアップ

投資分野

- インフラ開発：テック施設、データセンター、コワーキングスペースなど
- 教育・スキル開発：教育機関との連携で次世代のテックリーダー育成
- ベンチャー資金提供：高成長スタートアップへの投資
- 起業支援：AI、IoT、フィンテック分野のスタートアップ支援とアクセラレーター構築

未来への参加

アフリカの新興デジタル経済に投資し、教育・技術・イノベーションが融合する未来を共に築きましょう。

関連リンク



KICの詳細とこの取り組みへの参加方法は、こちらをご覧ください。



Learn more about KIC and how you can be part of this journey.

駐日ルワンダ大使館

〒158-0081 東京都世田谷区深沢 1-17-17 アネックス深沢 A

Tel : 03-5752-4255 E-mail : infojapan@embassy.gov.rw

Website : www.rwandainjapan.gov.rw X : <https://x.com/RwandainJapan>